

2019 年度日本認知症ケア学会・読売認知症ケア賞「功労賞」



本 間 昭（ほんま あきら）

1948 年 12 月 28 日生まれ

【授賞理由】

認知症の病態解明および実態調査に尽力するとともに認知症の人の人生に寄り添う真の認知症ケアを社会に定着させるため医療・看護・介護の連携を永年にわたり提唱し今日まで推進してきた。その活動は極めて先駆的でありわが国のみならず世界の認知症ケアの基を築いたといえる。

【略歴】

1973 年 6 月～1974 年 3 月	山田総合病院精神科
1974 年 4 月～1975 年 11 月	聖マリアンナ医大精神科
1975 年 12 月～1976 年 12 月	Denmark Aarhus State Hospital Cytogenetic Laboratory
1981 年 4 月～1984 年 12 月	聖マリアンナ医大精神科
1985 年 1 月～2009 年 3 月	（財）東京都老人総合研究所/東京都高齢者研究・福祉振興財団東京都老人総合研究所
2009 年 6 月～2016 年 3 月	（社福）浴風会認知症介護研究・研修東京センター
2009 年 10 月～現在	お多福もの忘れクリニック
2018 年 7 月～現在	NPO 法人認知症ケア研究所

【活動内容等】

活動目的：

- ・ 地域における認知症診療
- ・ 介護保険に係るサービスの提供
- ・ 外部評価機関としての活動
- ・ 認知症ケア加算研修を含む各種研修事業

活動期間

- ・ 地域における認知症診療：2009 年～
- ・ 介護保険に係るサービスの提供：2007 年～
- ・ 外部評価機関としての活動：2006 年～
- ・ 認知症ケア加算研修を含む各種研修事業：2006 年～

活動の特徴（200～400 字以内）

- ・ 認知症ケアに特化した実践および教育・研修活動
- ・ 認知症診療のためのクリニックと介護サービスは同一家屋内で一体的に提供されるため、本

人および介護者・家族支援を十分に行うことができる。

- ・世代間交流をおこなうため同一法人内に保育園を開園し、毎日デイサービス利用者との交流を行っている。
- ・デイサービス職員の寸劇活動による啓発活動

今後の活動

認知症ケアに関するより充実した研修および啓発活動を実践していきたいと考えている。